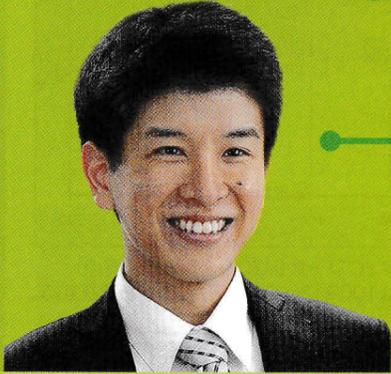


日本
維新の会
通信

芦屋維新プレス

平成30年秋号

発行 日本維新の会芦屋市議会議員団 〒659-8501 芦屋市精道町7番6号(芦屋市役所内) TEL/FAX (0797)38-2048

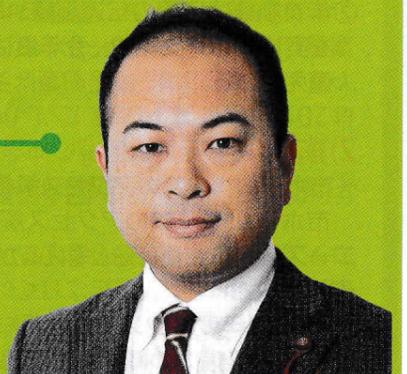


大原 裕貴 おおはらゆうき

昭和59年2月8日生まれ(34歳) / シドニー日本人学校、関西学院中学部、関西学院高等部、関西学院大学経済学部卒 / 卒業後は民間企業でシステムエンジニアとして勤務 / 建設公営企業常任委員会委員長 / 平成27年初当選1期目

寺前 尊文 てらまえたかふみ

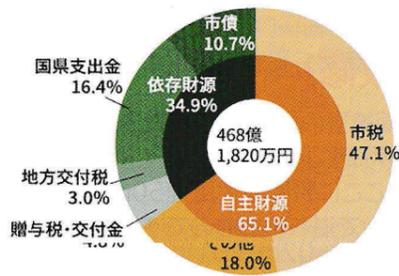
建設公営企業常任委員、芦屋浜・南芦屋浜まちづくり特別委員会委員 / 平成15年初当選の4期目 / 関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科修了(MBA取得) / 訪問介護員1級、防災士等の資格取得 / 所属政党・無所属 / 7児の父(5女2男)



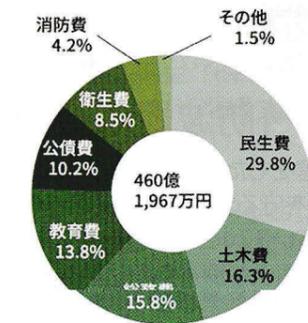
平成29年度決算について(決算特別委員会)

1. 歳入・歳出について

●一般会計歳入



●一般会計歳出



歳入(468億1,820万2,000円) - 歳出(460億1,967万9,000円) = 7億9,852万3,000円。

うち、次年度(30年度)に繰り越して実施する事業費(4億4,146万1,000円)を除いた実質的な収支は3億5,706万2,000円と黒字となっている。

なお、国民健康保険事業や下水道事業など、別途切り出している特別会計を含めた合計は以下の通り。いずれにせよ、実質収支は黒字となっている。

歳入	760億7,171万7,000円
歳出	742億7,240万3,000円
翌年度繰越事業費	4億4,616万5,000円
合計	13億5,314万9,000円

2. 基金、市債残高

震災の際に生じた市債の償還は順調に進んでいる。単年度別の市債額は増加傾向。ただ、市債の追加は必要な投資的経費が支出されていることを意味するため、この数字だけで財政状況の悪化を判断することはできない。基金残高については、取り崩しが進んでいる傾向にある。直ちに問題が生じるということではないが、基金残高の注視は必要と考える。

(単位：万円)

	26年度末	27年度末	28年度末	29年度末
基金残高	1,161,628	1,433,326	1,565,274	1,313,962
市債残高	4,844,569	4,751,518	4,895,925	4,981,011

3. 各種財政指標について

1) 経常収支比率

経常的経費に充てられた一般財源が経常一般財源に対しどの程度の割合となっているかを示す数値。地方財政においては財政構造の弾力性を判断する指標として用いられる。

H28年度決算	99.2%	H29年度決算	112.6%
---------	-------	---------	--------

平成29年度決算は、前年度よりも13.4ポイント悪化している。また、100%を超えているため、恒常的に必要な経費が収入では賄っていない状態になっており、財政が硬直化していると言える。

悪化は公共用地先行取得等事業債が満期を迎え、一括償還したことに起因する。なので、今後も慎重な運用は必要であるものの、数値の悪化そのものに大きな問題はないと見ている。

2) 将来負担比率

地方公共団体の一般会計等の借入金(地方債)や将来支払っていく可能性のある負担等が決算年度末にどれだけ残っているかを示す比率。数値が大きいほど将来財政を圧迫する可能性が高い。

H28年度決算	96.0%	H29年度決算	90.4%
---------	-------	---------	-------

年々改善されつつある。また、100%を下回っているため、市債総額が基金と1年間の収入を返済に回せば、1年で完済できる状況になっている。

各種の投資を行わずに貯めこんだ場合も将来負担比率が低くなる。なので、将来負担比率が低い=健全運営とも言いきれない。ただ、少なくとも今のよう100%を切り、90%程度を推移しながら減少傾向にある状況を見る限りでは、健全な財政運営が行われていると見ている。

4. 決算認定について

賛成多数で認定。会派としても以下の理由で賛成。

- 事業推進について 限りある資源を有効活用し、総合計画等を推進してきたことを評価する。
- 財政指標について 経常収支比率は悪化しているが、その他の指標は概ね改善。経常収支比率の悪化も、満期を迎えた市債の一括償還があったことに起因し、基本的には安定した財政運営が行われてきたものと考え、評価する。
- 今後の展開について 今後も厳しい財政状況が予測されるため、以下の取り組みの継続を要望する。
→ 限りある資源の有効活用の継続。慎重な財政運営の継続。持続可能な行財運営を目指した取り組み

平成30年度(2018)芦屋市議会
議会報告会
お知らせ
問い合わせ
市議会事務局 TEL.0797-38-2001

第1部 平成29年度決算報告について 第2部 テーマについて意見交換会 ※事前申し込みは必要ありません

11月15日(木) 13:00~14:40	会場: 市役所南館4階 大会議室	テーマ: ごみ処理について
11月16日(金) 10:00~11:40	会場: 市役所南館4階 大会議室	テーマ: 無電柱化の取り組みについて
11月23日(金) 14:00~15:40	会場: 福祉センター3階 会議室1	テーマ: 公共施設等総合管理計画について

9月定例会一般質問 大原 裕貴

1) 災害発生時の対策について

～ICT部門の業務継続計画について～

- ①大災害発生時は交通インフラの麻痺によりベンダーの到着遅延が予想される。職員のみで復旧は可能なのか？
②年次の訓練では、どこまでの訓練を実施しているのか？

<当局答弁>

- ①契約上、各システムベンダーが復旧作業を行う。職員等の作業手順書はないが、ベンダーの技術者をサポートできるよう取り組んでいる。
②年次訓練は情報の伝達訓練や職員だけで主要サーバの異常を見分ける訓練を実施している。また、今年度はサーバの復旧訓練を計画しており、災害等に備えている。

2) 広報について

～市ホームページのアクセス解析について～

市ホームページのアクセス解析は行っているのか？解析データは、利用者ニーズを測る上で有効と考えるが、市としての見解はどうか。

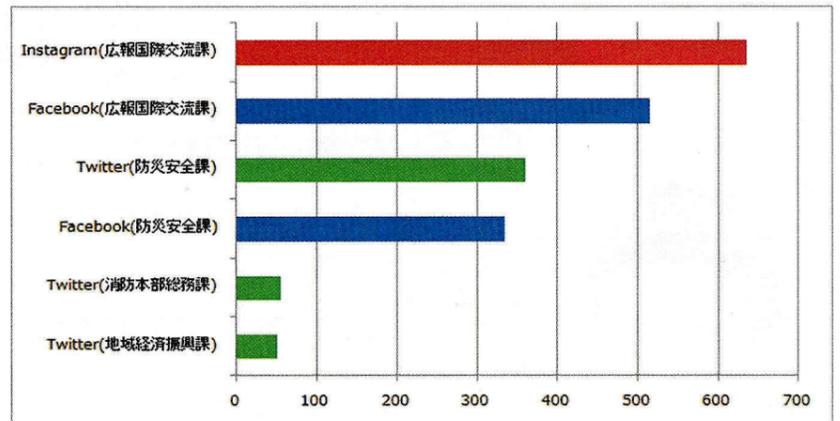
<当局答弁>

平成32年度のシステム更新に向け、更にアクセス解析機能の利用範囲を拡充し、広報発信力の向上を図っていく。

～インターネット環境での情報発信について～

- ①市ホームページの最新情報を取得できるアプリ「マチイロ」の広報を強化する予定は無いのか？

- ②各所管課にて活用されているSNSについて、どう評価しているか。フォロワー数を見ると、有効活用できているとは言い難いものもある。今後、どのようにして有効活用をしていく予定なのか？



※SNSアカウントのフォロワー数(H30.9.10 21:00時点)
Twitterについては100を切っているアカウントも存在する。

<当局答弁>

- ①『マチイロ』は広報あしややホームページなどとも相乗効果が発揮できるよう、SNS等で周知していく。
②SNSでの情報発信は、複数のアカウントの運用により、幅広いユーザーに対して多様な選択肢を提供するために行っている。今後は各アカウントの特性を生かしながら、機を捉えた効果的な情報発信に努めていく。

災害に強いまちづくりを目指して 寺前 尊文

度重なる台風、南海トラフ地震に備えて取り組むべき施策 「防波堤・防潮堤の改修」

9月4日に上陸した台風21号は、高潮の影響により南芦屋浜や宮川下流域の河畔で浸水被害をもたらしました。このような高潮被害の再発防止、また30年以内に70～80%の確率で発生が予想される南海トラフ地震による津波から、芦屋市民の生命と財産を守るために取り組むべき課題は何でしょうか。

台風21号による芦屋の最高潮位は、観測史上最高の第2室戸台風(1961年)よりも60cm高い324cmと記録を更新しました。ここに瞬間最大風速50m近い強風が加わり、防潮堤を超える高潮が越波しました。宮川の氾濫も、潮位の上昇により宮川を流れる雨水が海へ流れ込めなくなったことで溢れ出たものです。

また南海トラフ地震で想定される最大津波高(満潮位含む)は5mとされています。南芦屋浜の護岸高は約40cmの地盤沈下により5.02m(2018年9月調査)ですが、想定外が重なった東日本大地震の教訓を踏まえ、津波高や最大震度もより大きい規模を想定しておくべきでしょう。

芦屋市民の生命と財産を高潮や津波から守るには、海岸沿岸部の防潮堤の改修や、南芦屋浜の沖合約3kmにある西宮防波堤の延伸が必要と考えます。

提案 防潮堤のかさ上げと劣化点検を

芦屋浜、南芦屋浜共に防潮堤は約5mの高さが保たれています。しかし、海岸沿岸部は地盤沈下を起こしやすく、コンクリートが塩分と強風で劣化するため、適宜点検と改修が必要です。実際に、南芦屋浜護岸部は造成時に比べ約40cmの地盤沈下が確認されており、芦屋川河口部の防潮堤にも細かいヒビ割れが目視で確認できます。

最高潮位が60cm更新したこと、地盤沈下が40cm進行していることを踏まえ、特に高潮が越波したエリアでは1m程度のかさ上げを国に求めるべきでしょう。

提案 西宮防波堤の西側への延伸

西宮防波堤とは、芦屋市から尼崎市沖にかけて延びる全長4,433mの防波堤で、かつては日本一長く、別名「武庫川一字」として有名でした。

国内2番目の長さを誇りますが、芦屋沖にはスッポリと空間があります。元々は西側へ約400m延伸する計画でしたが、事業凍結しています。延伸された場合、南芦屋浜への津波の侵入を緩衝できます。

高さは約4mありますが、私が視察した時の印象では、満潮時には3m程度しかないように感じました。南海トラフ地震の最大津波高は5mが想定されていますので、想定外が複合的に重なった東日本大震災の教訓を踏まえ、堤の高さを2m以上かさ上げする必要を感じました。

尼崎西宮芦屋港の何が問題か

かつて尼崎西宮芦屋港の沖合には常時50～100のタンカー船が停留していましたが、近年は20隻程度に減少しました。しかし、係留船隻を含めると西宮防波堤の内側には約800隻の船やヨットがあります。停留船隻はタンカー船が多く、台風21号の高潮と強風によってコンテナが漂着したように、タンカー船やヨットも巨大な塊として沿岸部を襲います。

私は以前、南海トラフ地震によって発生する津波は、紀淡海峡や防波堤で減衰するから大きな被害はないだろうと考えていました。しかし、台風21号による高潮被害を契機に、津波防災への既成概念も改める必要を感じています。

9月に発生した被害を踏まえ、国が設置した「大阪湾港湾等における高潮対策検討委員会」の中で、芦屋市沿岸部の防潮堤対策も検討に含めて議論されます。芦屋市として市民の生命と財産を守るため、防災対策への主張を明確に示すよう、今後の議会でも取り上げてまいります。



西宮防波堤 位置図



西宮防波堤とタンカー船



南芦屋浜護岸に漂着したコンテナ(9月5日撮影)

寺前尊文議員の離党のお知らせ

平成30年8月をもって、メンバーの寺前尊文は政党「日本維新の会」を離党し、党籍は無所属となりました。党の運営方針に対する見解の対立が主な理由です。なお「日本維新の会芦屋市議会議員団」は、今任期中いっぱい現状の会派体制にて「徹底行革」「議会改革」の推進を目指して活動してまいります。